

教職員の時間外在校等時間縮減に効果の高い学校の取組状況調査表

市町村名・学校名	取手市・白山小学校
----------	-----------

1 時間外在校等時間の状況（教職員の平均値）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
小学校	17:09	23:06	29:27	31:34	29:17	30:43	28:33
中学校							

2 学校が主体的に実施する効果が高い取組の概要

【学校業務の削減・縮減に関する取組】

○日課の工夫

- ・下校時刻を14:30（5時間授業）、15:20（6時間授業）とし、放課後の時間を確保した。
- ・毎週月・水曜日を5時間授業とするとともに、会議等を設定しない曜日として、毎週水曜日の放課後2時間を確保した。
- ・週3日（15分/日）朝の時間にモジュール授業を取り入れることや、総合的な学習の時間9時間分を夏季休業中の学校外での学習とすることで、水曜日の5時間授業を可能とした。

○週1回の企画会の見直し

- ・週1回の企画会をやめ、検討が必要となる議案がある場合のみ、必要に応じて実施するようにした。

○その他

- ・学校行事の精選を図った。
（例 運動会半日実施、持久走大会の校内開催、1年生歓迎会・6年生を送る会の「内容・準備時間・実施時間等」の簡略化・縮減）
- ・オンライン集会の日常化を図った。（例 始業式、1年生歓迎会、6年生を送る会、安全集会、保健集会、表彰式等）
- ・会議のペーパーレス化を導入した。（令和3年4月～）
- ・学校アンケートのWEB化を導入した。（学校評価アンケート、児童の生活アンケート、教職員アンケート等で導入）
- ・学年だより等の見直し・WEB化を図った。

【教職員の意識改革に関する取組】

○推進委員による定時退勤の徹底

- ・推進委員が率先して定時退勤を実践することで、学校全体の意識向上を促し、勤務時間縮減の成果につなげている。（校内の働き方改革推進委員は若手・中堅・ベテランから1名ずつ選出している。）

○出勤時刻の変更

- ・出勤時刻8:00、退勤時刻16:30としたことで、退勤後の時間に余裕が生まれ、職員がプライベートの時間をより大切にするようになった。

○管理職の管理

- ・原則、午後6時を最終退勤時刻とし、この時間以降に在校している職員に対して管理職等が業務内容を確認して帰宅を促した。

【その他時間外の原因分析・解消に関する取組】

○2学期制の導入（市教委）

○加配・各種サポーター等の活用

- ・音楽専科教員の積極的な活用を図っている。
- ・学校サポーターの活用を図っている。（週35時間・県教委）
- ・消毒用務員の活用を図っている。（週5日2時間：市教委）

○自己申告書による目標設定（市教委）

- ・自己申告書に目標を設定することで、特にこれまで在校時間が多かった職員の意識改革につながった。

○自動応答電話の設置（市教委）

- ・17:00～8:00自動応答電話が設置されたことにより、職員が保護者等への電話連絡を勤務時間内に行うようになり、在校時間の減少につながった。